

Dell EMC PowerEdge MX740c

仕様詳細

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: PowerEdge MX740c スレッドの概要	4
コンピュータの正面図.....	5
システムの内部.....	5
お使いのシステムのサービス タグの位置の確認.....	6
システム情報ラベル.....	7
章 2: 技術仕様	10
システムの寸法.....	10
システムの重量.....	11
プロセッサの仕様.....	11
Intel Quick Assist テクノロジー.....	11
対応オペレーティング システム.....	11
システム バッテリーの仕様.....	11
メモリーの仕様.....	12
ハードドライブ.....	12
メザニンおよびミニ メザニン スロットの仕様.....	12
ストレージ コントローラーの仕様.....	13
ポートおよびコネクタの仕様.....	13
USB ポート.....	13
内蔵デュアル SD モジュール.....	13
Micro SD vFlash コネクタ.....	13
ビデオの仕様.....	13
環境仕様.....	13
粒子状およびガス状汚染物質の仕様.....	14
標準動作温度.....	15
動作時の拡張温度.....	15
サーマル.....	16
章 3: システム診断とインジケータ コード	17
電源ボタン LED.....	17
ドライブインジケータコード.....	17
システム正常性とシステム ID インジケータコード.....	18
システム診断プログラム.....	19
Dell 組み込み型システム診断.....	19
章 4: マニュアルリソース	21
章 5: 困ったときは	24
Dell EMC へのお問い合わせ.....	24
マニュアルのフィードバック.....	24
QRL によるシステム情報へのアクセス.....	24
PowerEdge MX740c システム用 QR コード.....	25
SupportAssist による自動サポートの利用.....	25
リサイクルまたはサービス終了の情報.....	25

PowerEdge MX740c スレッドの概要

Dell EMC PowerEdge MX740c はシングル幅のコンピュータ スレッドで、以下をサポートしています。

- 最大2個の Intel Xeon スケーラブル プロセッサ。
- 最大24個の DIMM スロット。
- 最大6台の 2.5 インチ SAS、SATA (HDD/SSD)、または NVMe ドライブ。

メモ: 本書では、特に明記された場合を除き、SAS、NVMe、SATA の各 HDD のすべてのインスタンスのことをドライブと呼んでいます。

トピック:

- [コンピュータの正面図](#)
- [システムの内部](#)
- [お使いのシステムのサービス タグの位置の確認](#)
- [システム情報ラベル](#)

コンピュータの正面図

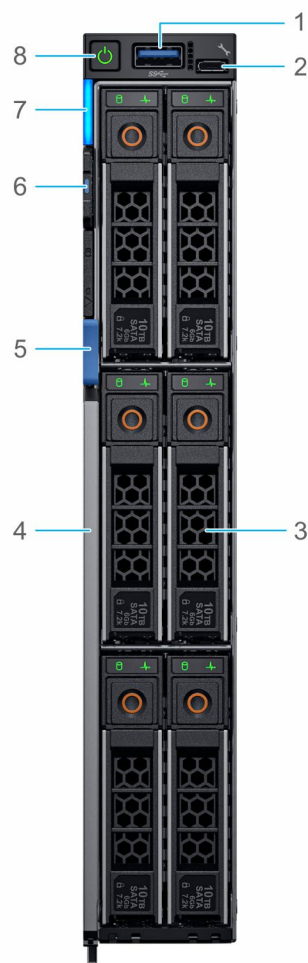


図 1.6 台ドライブ構成の前面図

1. USB 3.0 ポート
2. iDRAC ダイレクト ポート
3. ドライブ
4. リリース ハンドル
5. リリース ハンドル ボタン
6. 情報タグ
7. システム正常性およびシステム ID インジケータ
8. 電源ボタン

ポートの詳細については、「[技術仕様](#)」を参照してください。

システムの内部

メモ: ホットスワップ対応コンポーネントには橙色のタッチポイントが付いています。ホットスワップ非対応コンポーネントには青色のタッチポイントが付いています。

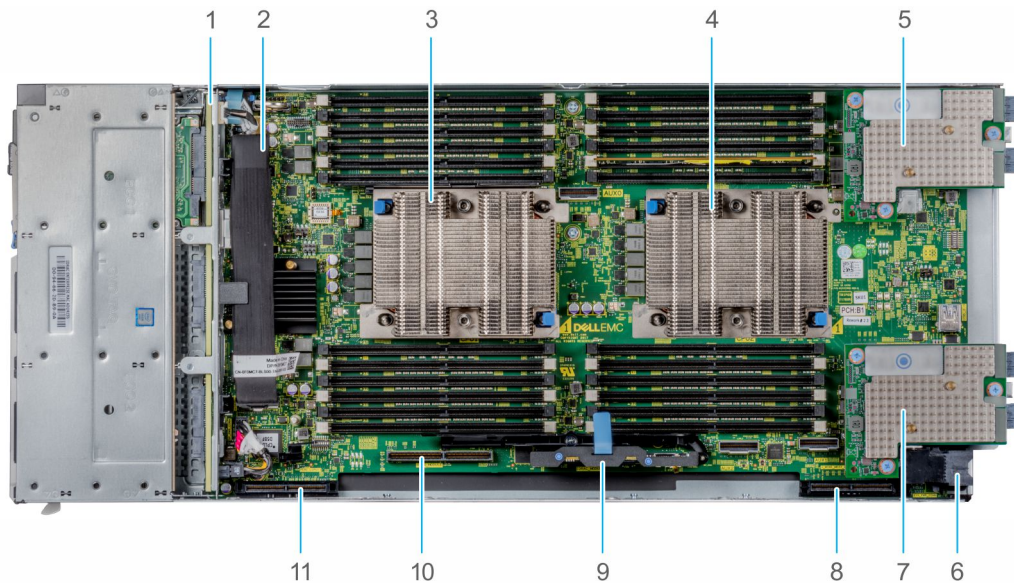


図 2. システムの内部

1. バックプレーン
2. バックプレーン ケーブル
3. プロセッサ-1(ヒートシンク)
4. プロセッサ-2(ヒートシンク)
5. メザニン カード A1
6. 電源コネクタ
7. メザニン カード B1
8. ミニ メザニン コネクタ
9. iDRAC カード
10. BOSS コネクタ
11. PERC コネクタ

お使いのシステムのサービス タグの位置の確認

[システム情報] タブには、システム固有のエクスペレス サービス コードおよびサービスタグが含まれます。Dell EMC は、この情報を使用して、システム構成や保証情報を識別したり、サポートへの問い合わせを適切な担当者に転送したりします。[システム情報] タブの [QRL (クイック リソース ロケーター)] ラベルは、出荷時の構成と購入した特定の保証を示す Web ページにリンクされています。

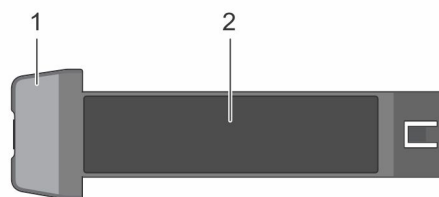


図 3. お使いのシステムのサービスタグの位置

1. 情報タグ
2. サービスタグ

システム情報ラベル

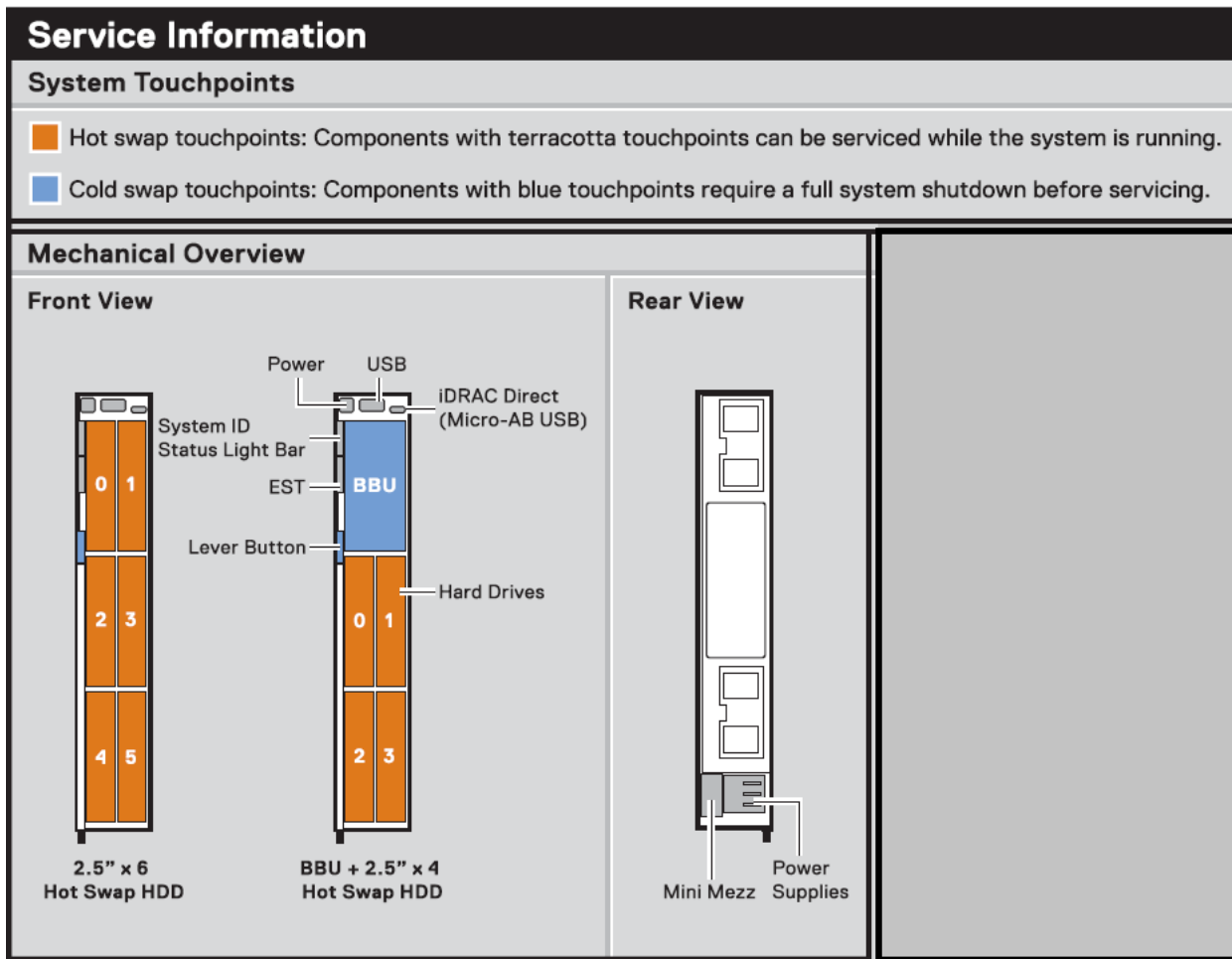


図 4. 機械的概要

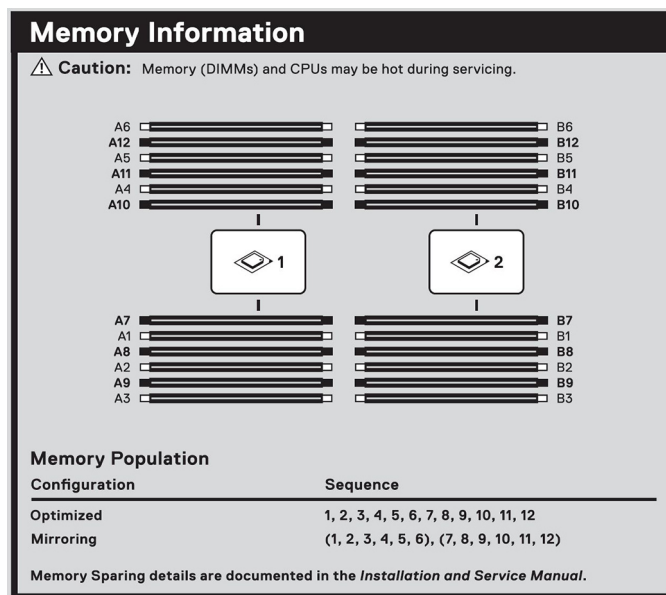


図 5. メモリ情報

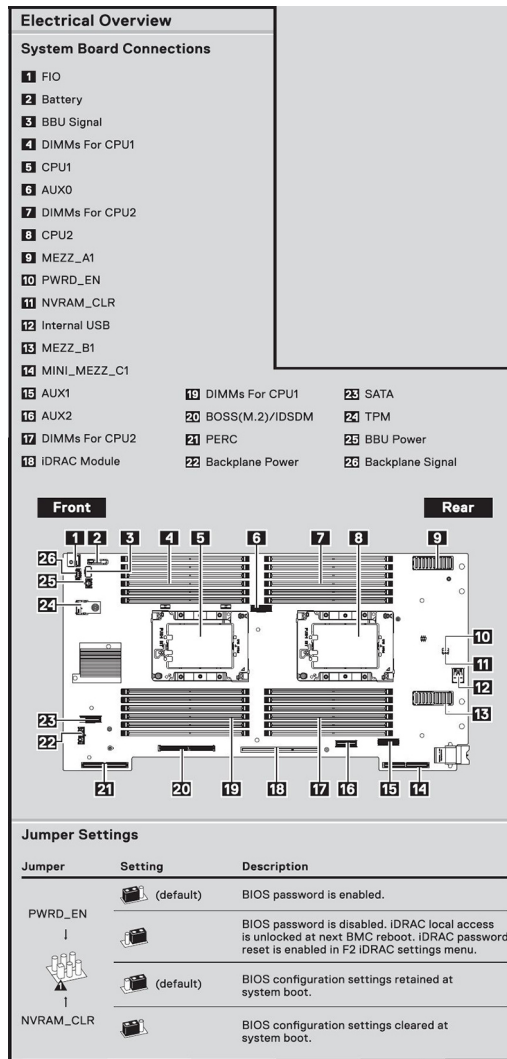


図 6. システム基板

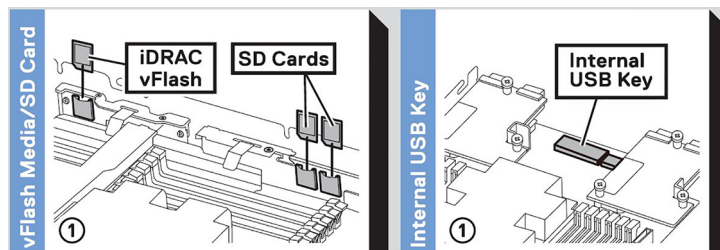


図 7. iDSDM と内蔵 USB メモリ キー (オプション) の取り外し

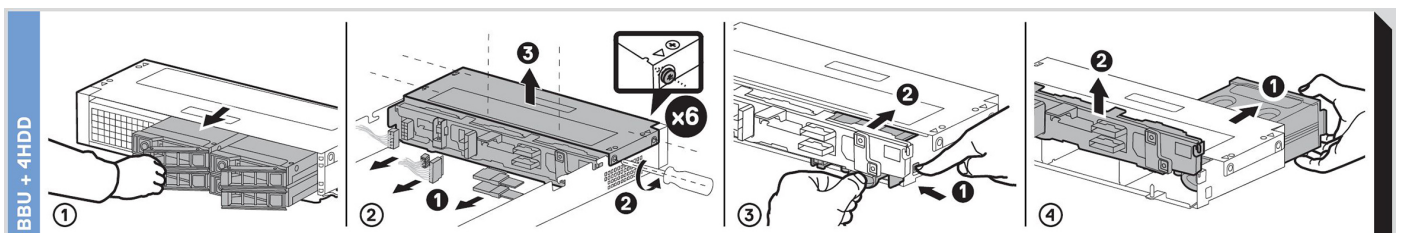


図 8. BBU モジュールとドライブ ケージの取り外し

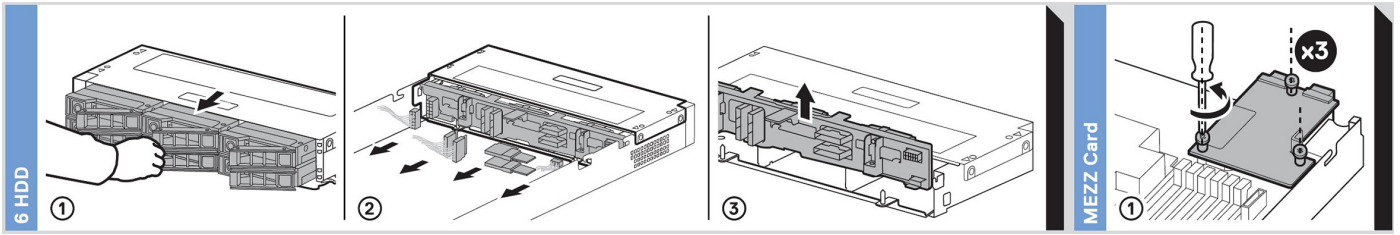


図 9. バックプレーンとメザニン カードの取り外し

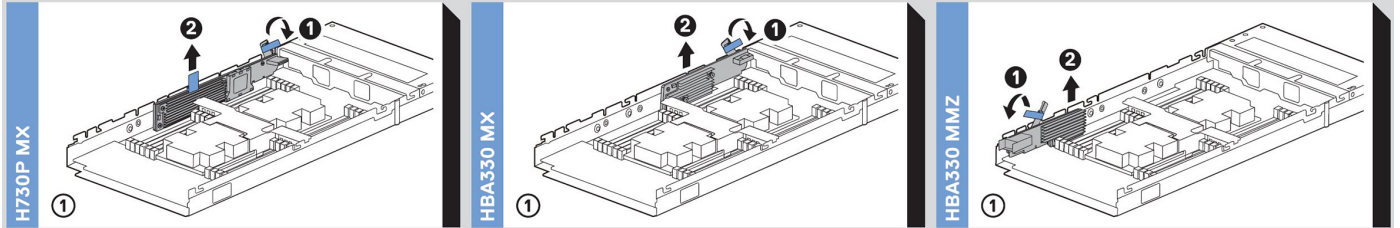


図 10. PERC カードとミニ メザニン カードの取り外し

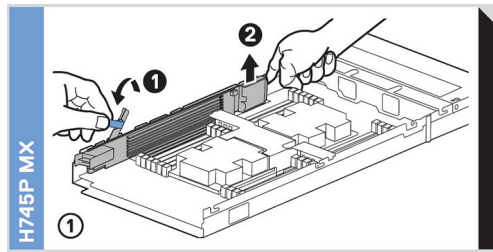


図 11. Jumbo PERC カードの取り外し

技術仕様

本項では、お使いのシステムの技術仕様と環境仕様の概要を示します。

トピック：

- ・ システムの寸法
- ・ システムの重量
- ・ プロセッサの仕様
- ・ 対応オペレーティング システム
- ・ システム バッテリーの仕様
- ・ メモリーの仕様
- ・ ハードドライブ
- ・ メザニンおよびミニ メザニン スロットの仕様
- ・ ストレージ コントローラーの仕様
- ・ ポートおよびコネクタの仕様
- ・ ビデオの仕様
- ・ 環境仕様

システムの寸法

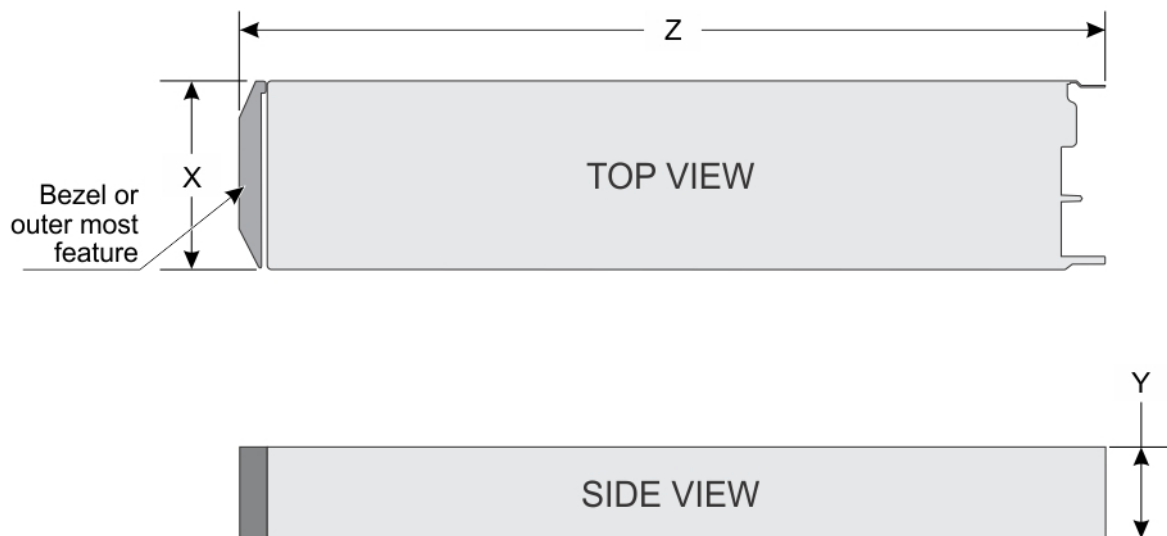


図 12. システムの寸法

表 1. PowerEdge MX740c システムのシステム寸法

システム	X	Y	Z (ハンドルを閉じた状態)
Dell EMC PowerEdge MX740c	250.2 mm (9.85 インチ)	42.15 mm (1.65 インチ)	620.35 mm (24.42 インチ)

システムの重量

表 2. システムの重量

システム	最大重量
Dell EMC PowerEdge MX740c	9.5 kg (20.94 ポンド)

プロセッサの仕様

Dell EMC PowerEdge MX740c システムは、最大 2 個の Intel Xeon スケーラブル プロセッサをサポートし、プロセッサごとに最大 28 個のコアをサポートします。

プロセッサのワット数とヒートシンクの寸法

表 3. プロセッサのワット数とヒートシンクの寸法

プロセッサ構成	プロセッサの種類	ヒートシンクの幅	プロセッサあたりの DIMM の最大数	DIMM 数、RAS
すべて	最大 205 W	90 mm	12	12

Intel Quick Assist テクノロジー

Dell EMC PowerEdge MX740c の Intel® Quick Assist テクノロジー (QAT) は、チップセットへの統合によりサポートされており、オプションのライセンスを通じて有効します。ライセンス ファイルは iDRAC を介してスレッドで有効になります。

iDRAC の詳細については、www.dell.com/poweredgemanuals で『Integrated Dell Remote Access Controller ユーザーズガイド』を参照してください。

Intel® QAT のドライバ、マニュアル、およびホワイト ペーパーの詳細については、<https://01.org/intel-quickassist-technology> を参照してください。

対応オペレーティング システム

Dell EMC PowerEdge MX740c スレッドは、次のオペレーティング システムをサポートしています。

- Citrix XenServer
- Hyper-V 搭載 Microsoft Windows Server
- Red Hat Enterprise Linux
- SuSE Linux Enterprise Server
- Ubuntu
- VMWare ESXi

特定のバージョンやエディションの詳細については、<https://www.dell.com/support/home/Drivers/SupportedOS/poweredge-mx740c> を参照してください。

システム バッテリーの仕様

Dell EMC PowerEdge MX740c システムは、CR 2032 3.0-V ニッケルメッキ リチウム コイン型システム バッテリーをサポートしています。

メモリーの仕様

表 4. メモリーの仕様

DIMM のタイプ	DIMM のランク	DIMM の容量	シングル プロセッサ		デュアル プロセッサ	
			最小 RAM	最大 RAM	最小 RAM	最大 RAM
LRDIMM	オクタルランク	128 GB	128 GB	1536 GB	256 GB	3072 GB
	クワッドランク	64 GB	64 GB	768 GB	128 GB	1536 GB
RDIMM	シングルランク	8 GB	8 GB	96 GB	16 GB	192 GB
	デュアルランク	16 GB	16 GB	192 GB	32 GB	384 GB
		32 GB	32 GB	384 GB	64 GB	768 GB
		64 GB	64 GB	768 GB	128 GB	1536 GB
NVDIMM-N	シングルランク	16 GB	シングル プロセッサではサポートされていません	シングル プロセッサではサポートされていません	RDIMM : 192 GB NVDIMM-N : 16 GB	RDIMM : 384 GB NVDIMM-N : 192 GB
DCPMM	該当なし	128 GB	RDIMM : 64 GB	RDIMM : 384 GB	RDIMM : 128 GB	LRDIMM : 1536 GB
			DCPMM : 128 GB	DCPMM : 128 GB	DCPMM : 1536 GB	DCPMM : 1536 GB
	該当なし	256 GB	該当なし	該当なし	RDIMM : 192 GB	LRDIMM : 1536 GB
			該当なし	該当なし	DCPMM : 2048 GB	DCPMM : 3072 GB
	該当なし	512 GB	該当なし	該当なし	RDIMM : 384 GB	RDIMM : 1536 GB
			該当なし	該当なし	DCPMM : 4096 GB	DCPMM : 6144 GB

- ① **メモ:** 8 GB RDIMM と NVDIMM-N を 1 つのエンクロージャ内に混在させないでください。
- ① **メモ:** 64 GB LRDIMM と 128 GB LRDIMM を 1 つのエンクロージャ内に混在させないでください。
- ① **メモ:** NVDIMM-N をサポートする構成の場合、最低 2 基のプロセッサが必要です。
- ① **メモ:** DCPMM は、RDIMM および LRDIMM と併用することができます。
- ① **メモ:** インテル DCPMM 動作モード (App Direct、メモリーモード) を、ソケット内またはソケット間で混在させることはできません。

ハードドライブ

Dell EMC PowerEdge MX740c システムは、最大 6 台の 2.5 インチ ホットスワップ対応 SAS/SATA HDD、SSD、または PCIe NVMe ドライブをサポートしています。

ドライブはホットスワップ対応ドライブ キャリアに装着し、バックプレーンを介してシステム基板または RAID コントローラに接続します。

- ① **メモ:** NVMe ドライブをサポートするにはデュアル プロセッサ構成が必要です。

メザニンおよびミニメザニン スロットの仕様

Dell EMC PowerEdge MX740c は次をサポートしています。

- ミニメザニンカード用 x16 PCIe Gen3 (1) - プロセッサ 2 に接続。
- メザニンカード用 x16 PCIe Gen3 (2) - メザニン A1 をプロセッサ 1 に接続、メザニン B1 をプロセッサ 2 に接続。

ストレージコントローラーの仕様

Dell EMC PowerEdge MX740c システムは、PowerEdge RAID コントローラー (PERC) HBA330 MX、HBA330、H730P MX、H745P MX、H730P、H745P、S140 (SATA および NVMe ドライブ)、HBA330 MMZ (ミニメザニンカード)、Fibre ファイバーチャネル HBA (ミニメザニン Fab C スロット内)、および Boot Optimized Storage Subsystem (BOSS M.2) をサポートします。

ポートおよびコネクタの仕様

USB ポート

Dell EMC PowerEdge MX740c システムは次をサポートしています。

- システム前面の USB 3.0 対応ポート (1)
- システム前面のマイクロ USB/iDRAC ダイレクト対応の USB 2.0 対応ポート (1)
- USB 3.0 対応内蔵ポート (1)

メモ: システム前面のマイクロ USB 2.0 対応ポートは、iDRAC ダイレクトの管理ポートとしてのみ使用できます。

内蔵デュアル SD モジュール

Dell EMC PowerEdge MX740c システムは、オプションの内蔵デュアル SD モジュール (IDSDM) をサポートしています。第 14 世代の PowerEdge サーバでは、IDSDM モジュールは 2 枚の MicroSD カードをサポートしています。IDSDM の MicroSD カードの容量は、16 GB、32 GB、64 GB です。

メモ: IDSDM モジュールには書き込み保護用のディップスイッチが 2 つあります。

メモ: IDSDM カード スロット 1 個は冗長専用です。

メモ: IDSDM 構成システムに関連付けられたデルブランドの MicroSD カードを使用することをお勧めします。

Micro SD vFlash コネクタ

Dell EMC PowerEdge MX740c システムは、将来の vFlash のサポート用として iDRAC モジュールで専用の MicroSD カードを 1 枚サポートしています。iDRAC モジュールに関連付けられたデルブランドの MicroSD カードを使用することをお勧めします。

ビデオの仕様

表 5. ビデオの仕様

タイプ	説明
ビデオのタイプ	Matrox G200 グラフィックスコントローラ (iDRAC に統合)
ビデオメモリ	4 GB DDR4 (iDRAC アプリケーションメモリと共有)

環境仕様

メモ: 環境認定の詳細については、www.dell.com/poweredgemanuals の [マニュアルおよび文書] にある『製品環境データシート』を参照してください

表 6. 温度の仕様

温度	仕様
ストレージ	-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)
継続動作 (高度 950 m (3117 フィート) 未満)	10 ~ 35 °C (50 ~ 95 °F)、装置への直射日光なし。
最大温度勾配 (動作時および保管時)	20°C/h (68°F/h)

表 7. 相対湿度の仕様

相対湿度	仕様
ストレージ	最大露点 33 °C (91 °F) で 5 ~ 95 % の相対湿度。周囲空気は常に結露しない必要があります。
動作時	最大露点 29°C (84.2°F) で 10 ~ 80% の相対湿度。

表 8. 最大振動の仕様

最大耐久震度	仕様
動作時	0.26 G _{rms} (5 ~ 350 Hz) (全稼働方向)。
ストレージ	1.87 G _{rms} (10 ~ 500 Hz) で 15 分間 (全 6 面で検証済)。

表 9. 最大衝撃の仕様

最大耐久衝撃	仕様
動作時	x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス、11 ミリ秒以下で 6G。
ストレージ	x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス (システムの各面に対して 1 パルス)、2 ミリ秒以下で 71G。

表 10. 最大高度の仕様

最大高度	仕様
動作時	3048 m (10,000 ft)
ストレージ	12,000 m (39,370 フィート)

表 11. 動作時温度ディレーティングの仕様

動作時温度ディレーティング	仕様
最高 35 °C (95 °F)	950 m (3117 フィート) を越える高度では、最高温度は 300 m (547 フィート) ごとに 1°C (1°F) 低くなります。
35 ~ 40°C (95 ~ 104°F)	950 m (3117 フィート) を越える高度では、最高温度は 175 m (319 フィート) ごとに 1°C (1°F) 低くなります。
40 ~ 45°C (104 ~ 113°F)	950 m (3117 フィート) を越える高度では、最高温度は 125 m (228 フィート) ごとに 1°C (1°F) 低くなります。

粒子状およびガス状汚染物質の仕様

次の表では、粒子汚染およびガス汚染による装置の損傷や故障を避けるの役立つ制限事項を定義しています。粒子汚染またはガス汚染のレベルが指定の制限事項を超えていて、機器の損傷や故障をもたらす場合には、状況に応じて環境状態の改善が必要になります。環境状態の改善は、お客様の責任となります。

表 12. 粒子状汚染物質の仕様

粒子汚染	仕様
空気清浄	データセンターの空気清浄レベルは、ISO 14644-1 の ISO クラス 8 の定義に準じて、95% 上限信頼限界です。

表 12. 粒子状汚染物質の仕様 (続き)

粒子汚染	仕様
	<p>① メモ: この条件はデータセンター環境にのみ該当します。空気清浄要件は、事務所や工場現場などのデータセンター外での使用のために設計された IT 装置には適用されません。</p> <p>① メモ: データセンターに吸入される空気は、MERV11 または MERV13 フィルタで濾過する必要があります。</p>
伝導性ダスト	<p>空気中に伝導性ダスト、亜鉛ウイスカ、またはその他伝導性粒子が存在しないようにする必要があります。</p> <p>① メモ: この条件は、データセンター環境と非データセンター環境に適用されます。</p>
腐食性ダスト	<ul style="list-style-type: none"> • 空気中に腐食性ダストが存在しないようにする必要があります。 • 空気中の残留ダストは、潮解点が相対湿度 60% 未満である必要があります。 <p>① メモ: この条件は、データセンター環境と非データセンター環境に適用されます。</p>

表 13. ガス状汚染物質の仕様

ガス状汚染物	仕様
銅クーポン腐食度	クラス G1 (ANSI/ISA71.04-1985 の定義による) に準じ、ひと月あたり 300 Å 未満。
銀クーポン腐食度	AHSRAE TC9.9 の定義に準じ、ひと月あたり 200 Å 未満。

① **メモ:** 50% 以下の相対湿度で測定された最大腐食汚染レベル

標準動作温度

表 14. 動作時の標準温度の仕様

標準動作温度	仕様
継続動作 (高度 950 m (3117 フィート) 未満)	10 ~ 35 °C (50 ~ 95 °F)、装置への直射日光なし。
相対湿度範囲	最大露点 29°C (84.2°F) で 10 ~ 80% の相対湿度。

動作時の拡張温度

表 15. 動作時の拡張温度の仕様

動作時の拡張温度	仕様
継続動作	<p>相対湿度 5% ~ 85%、露点温度 29°C で、5°C ~ 40°C</p> <p>① メモ: 標準動作温度 (10°C ~ 35°C) の範囲外では、下限 5°C、上限は 40°C までで、システムの継続動作が可能です。</p> <p>温度が 35°C ~ 40°C の場合、950 m を超える場所では 175 m 上昇するごとに最大許容乾球温度を 1°C 下げます (319 フィートごとに 1°F)。</p>
年間動作時間の 1% 以下	<p>相対湿度 5% ~ 90%、露点温度 29°C で、-5°C ~ 45°C</p> <p>① メモ: 標準動作温度範囲 (10°C ~ 35°C) 外で使用する場合は、下限は -5°C、上限は 45°C までで、年間動作時間の最大 1% にわたって動作することができます。</p>

表 15. 動作時の拡張温度の仕様 (続き)

動作時の拡張温度	仕様
	温度が 40°C ~ 45°C の場合、950 m を超える場所では 125 m 上昇するごとに最大許容温度を 1°C 下げます (228 フィートごとに 1°F)。

- ① **メモ:** 動作時の拡張温度範囲で使用すると、システムのパフォーマンスに影響が生じる場合があります。
- ① **メモ:** 拡張温度範囲でシステムを使用している際に、LCD パネルとシステム イベント ログに周囲温度の警告が報告される場合があります。

動作時の拡張温度範囲に関する制限

1. 5°C 未満でコールドブートを行わないでください。
2. 動作温度は最大高度 3050 m (10,000 フィート) を想定しています。
3. コア数の少ないプロセッサ-[Gold 6146、6144、6134、6128、5222、5217、5122]およびワット数が高いプロセッサ-[熱設計電力 (TDP) >140 W]はサポートされていません。
4. デル認定外の周辺機器カードまたは 30 W を超える周辺機器カードは非対応です。
5. PCIe SSD は非対応です。
6. NVDIMM はサポートされていません。
7. DCPMM はサポートされません。

サマール

PowerEdge サーバには、温度変化を自動的に検知するセンサーの高度な収集機能があり、温度を調整してサーバのノイズや電力消費を抑えるのに役立っています。MX740c のセンサーは、ファン速度を調節するシャーシ管理サービス モジュールと情報を交換しています。MX740c を冷却するファンはすべて、MX7000 シャーシに搭載されています。

PowerEdge MX740c の温度管理では、10°C ~ 35°C (50°F ~ 95°F) の幅広い周囲温度範囲および拡張周囲温度範囲 (「環境仕様」の項を参照) にわたって、コンポーネントを最小のファン速度で適切に冷却する、ハイ パフォーマンスを実現します。そのメリットとしては、ファンの低電力消費量 (サーバシステム、ひいてはデータセンターの電力消費量を抑えます) と、静音性による優れた汎用性があげられます。

温度管理の詳細については、『MX7000 Technical Guide』を参照してください。

表 16. 温度に関する制限のマトリックス

周囲温度のサポート	25°C	30°C	35°C	40°C ~ 45°C (動作時の拡張温度)
CPU CLX Refresh 205 W CPU (6242R、6246R、6248R、6258R) 構成。	制限なし	制限なし (熱設計電力 (TDP) > 205W のプロセッサの推奨作動時温度は 25°C 未満)	非対応	非対応
DIMM	制限なし	制限なし	制限なし	NVDIMM はサポートされません
ドライブ	制限なし	制限なし	制限なし	NVMe (PCIe SSD) はサポートされません
メザニンカード	制限なし	制限なし	制限なし	30W を超える電源のメザニンカードはサポートされません

システム診断とインジケータコード

システムの前面パネルにある診断インジケータには、システム起動時にシステムステータスが表示されます。

トピック：

- ・ 電源ボタン LED
- ・ ドライブインジケータコード
- ・ システム正常性とシステム ID インジケータコード
- ・ システム診断プログラム

電源ボタン LED

電源ボタン LED は、お使いのシステムの前面パネルにあります。



図 13. 電源ボタン LED

表 17. 電源ボタン LED

電源ボタン LED インジケータ コード	状態
オフ	電源装置が使用可能かどうかに関係なく、システムが稼動していません。
オン	システムが稼動していて、1台以上の非スタンバイの電源装置がアクティブです。
ゆっくりとした点滅	システムが電源投入中であり、iDRAC がまだ起動中です。

ドライブインジケータコード

ドライブキャリアの LED は各ドライブの状態を示します。システム内の各ドライブ キャリアには、アクティビティ LED (緑色) とステータス LED (2 色、緑/橙色) の 2 つの LED があります。ドライブにアクセスすると、その都度アクティビティ LED が点滅します。



図 14. ドライブのドライブインジケータとミッドドライブトレイバックプレーン

1. ドライブアクティビティ LED インジケータ
2. ドライブステータス LED インジケータ
3. ドライブの容量ラベル

メモ: ドライブが Advanced Host Controller Interface (AHCI) モードの場合、ステータス LED インジケータは点灯しません。

表 18. ドライブインジケータコード

ドライブステータスインジケータコード	状態
1 秒間に 2 回緑色に点滅	ドライブの識別中または取り外し準備中
オフ	ドライブの取り外しを準備します。 メモ: システムへの電源投入後、ドライブステータスインジケータは、すべてのハードディスクドライブが初期化されるまで消灯したままです。この間、ドライブの挿入または取り外し準備はできていません。
緑色、橙色に点滅後、消灯	予期されたドライブの故障
1 秒間に 4 回橙色に点滅	ドライブに障害発生
緑色にゆっくり点滅	ドライブの再構築中
緑色の点灯	ドライブオンライン状態
緑色に 3 秒間点滅、橙色に 3 秒間点滅、その後 6 秒後に消灯	再構築が停止

システム正常性とシステム ID インジケータコード

システム正常性およびシステム ID インジケータは、お使いのシステムの左側の前面にあります。



図 15. システムの正常性とシステム ID インジケータ

表 19. システム正常性とシステム ID インジケータコード

システムの正常性とシステム ID インジケータコード	状態
青色に点灯	システムがオンにするには、システムが正常に電源が入っていること、およびシステム ID を示します。モードはアクティブでない。MX7000 の左側のコントロール パネルにあるシステム正常性およびシステム ID ボタンを押して、システム ID モードに切り替えます。
青色の点滅	システム ID のモードがアクティブであることを示します。MX7000 の左側のコントロール パネルにあるシステム正常性およびシステム ID ボタンを押して、システム正常性モードに切り替えます。
橙色に点灯	システムがフェイルセーフモードに失敗したことを示します。
橙色に点滅	システムが、障害が発生していることを示します。システム イベント ログを調べて特定のエラー メッセージがないか確認します。エラー メッセージの詳細については、 <i>Dell イベントおよびエラー メッセージ リファレンス ガイド</i> (www.dell.com/openmanagemanuals) を参照してください。

システム診断プログラム

システムに問題が起こった場合、デルのテクニカルサポートに電話する前にシステム診断プログラムを実行してください。システム診断プログラムを使うと、特別な装置を使用せずにシステムのハードウェアをテストでき、データ ロスの心配もありません。お客様がご自分で問題を解決できない場合でも、サービスおよびサポート担当者が診断プログラムの結果を使って問題解決の手助けを行うことができます。

Dell 組み込み型システム診断

メモ: Dell 組み込み型システム診断は、Enhanced Pre-boot System Assessment (ePSA) 診断としても知られています。

組み込み型システム診断プログラムには、特定のデバイスグループや各デバイス用の一連のオプションが用意されており、以下の処理が可能です。

- テストを自動的に、または対話モードで実行
- テストの繰り返し
- テスト結果の表示または保存
- 詳細なテストで追加のテストオプションを実行し、障害の発生したデバイスに関する詳しい情報を得る
- テストが問題なく終了したかどうかを知らせるステータスメッセージを表示
- テスト中に発生した問題を通知するエラーメッセージを表示

起動マネージャーからの組み込み型システム診断プログラムの実行

お使いのシステムが起動しない場合に、組み込み型システム診断プログラム (ePSA) を実行します。

1. システムの起動中に、F11 を押します。
2. 上下矢印キーを使用して、**System Utilities > Launch Diagnostics** と選択します。
3. または、システムの起動中に F10 を押して、**Hardware Diagnostics > Run Hardware Diagnostics** と選択します。
[**ePSA Pre-boot System Assessment**] ウィンドウが表示され、システム内に検知された全デバイスがリストアップされます。Diagnostics (診断) が検知された全デバイスのテストを開始します。

Dell Lifecycle Controller からの組み込み型システム診断プログラムの実行

1. システム起動中に F10 を押します。
2. **Hardware Diagnostics** (ハードウェア診断) → **Run Hardware Diagnostics** (ハードウェア診断の実行) を選択します。
[**ePSA Pre-boot System Assessment**] ウィンドウが表示され、システム内に検知された全デバイスがリストアップされます。Diagnostics (診断) が検知された全デバイスのテストを開始します。

システム診断プログラムのコントロール

メニュー	説明
構成	検知された全デバイスの設定およびステータス情報が表示されます。
結果	実行された全テストの結果が表示されます。
システムの正常性	システムパフォーマンスの現在の概要が表示されます。
イベント ログ	システムで実行された全テストの結果のタイムスタンプ付きログが表示されます。少なくとも1つのイベントの説明が記録されていれば、このログが表示されます。

マニュアルリソース

本項では、お使いのシステムのマニュアルリソースに関する情報を提供します。

マニュアル リソースの表に記載されているマニュアルを参照するには、次の手順を実行します。

- Dell EMC サポート サイトにアクセスします。
 1. 表の「場所」列に記載されているマニュアルのリンクをクリックします。
 2. 目的の製品または製品バージョンをクリックします。
 - ① **メモ:** 製品名とモデルを確認する場合は、お使いのシステムの前面を調べてください。
 3. [製品サポート] ページで、**マニュアルおよび文書**をクリックします。
- 検索エンジンを使用します。
 - 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

表 20. お使いのシステムのためのその他マニュアルのリソース

タスク	文書	場所
システムのセットアップ	<p>システムをラックに取り付けて固定する方法の詳細については、お使いのラック ソリューションに同梱の『ルール取り付けガイド』を参照してください。</p> <p>お使いのシステムのセットアップの詳細については、システムに同梱の『はじめに』マニュアルを参照してください。</p>	www.dell.com/poweredgemanuals
システムの設定	<p>iDRAC 機能、iDRAC の設定と iDRAC へのログイン、およびシステムのリモート管理についての情報は、『Integrated Dell Remote Access Controller ユーザーズ ガイド』を参照してください。</p> <p>RACADM (Remote Access Controller Admin) サブコマンドとサポートされている RACADM インターフェイスを理解するための情報については、『RACADM CLI Guide for iDRAC』を参照してください。</p> <p>iDRAC に実装されている、Redfish とそのプロトコル、サポートされているスキーマ、および Redfish Eventing の詳細については、『Redfish API Guide』を参照してください。</p> <p>iDRAC プロパティ データベース グループとオブジェクトの記述の詳細については、『Attribute Registry Guide』を参照してください。</p> <p>インテル QuickAssist テクノロジーの詳細については、『Integrated Dell Remote Access Controller ユーザーズ ガイド』を参照してください。</p>	www.dell.com/poweredgemanuals

表 20. お使いのシステムのためのその他マニュアルのリソース (続き)

タスク	文書	場所	
	以前のバージョンの iDRAC マニュアルの詳細については、iDRAC のマニュアルを参照してください。 お使いのシステムで使用可能な iDRAC のバージョンを特定するには、iDRAC Web インターフェイスで ? 、 About の順にクリックします。	www.dell.com/idracmanuals	
	オペレーティングシステムのインストールについての情報は、オペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。	www.dell.com/operatingsystemmanuals	
	ドライバおよびファームウェアのアップデートについての情報は、本書の「ファームウェアとドライバをダウンロードする方法」の項を参照してください。	www.dell.com/support/drivers	
システムの管理	Dell が提供するシステム管理ソフトウェアについての情報は、『Dell OpenManage Systems Management 概要ガイド』を参照してください。	www.dell.com/poweredgemanuals	
	OpenManage のセットアップ、使用、およびトラブルシューティングについての情報は、『Dell OpenManage Server Administrator ユーザーズガイド』を参照してください。	www.dell.com/openmanagemanuals > OpenManage Server Administrator	
	Dell OpenManage Essentials のインストール、使用、およびトラブルシューティングについての情報は、『Dell OpenManage Essentials ユーザーズガイド』を参照してください。	www.dell.com/openmanagemanuals > OpenManage Essentials	
	Dell OpenManage Enterprise のインストール、使用、およびトラブルシューティングについての情報は、『Dell OpenManage Essentials ユーザーズガイド』を参照してください。	www.dell.com/openmanagemanuals > OpenManage Enterprise	
	Dell SupportAssist のインストールおよび使用の詳細については、『Dell EMC SupportAssist Enterprise ユーザーズガイド』を参照してください。	https://www.dell.com/serviceabilitytools	
	パートナープログラムのエンタープライズシステム管理についての情報は、OpenManage Connections Enterprise Systems Management マニュアルを参照してください。	www.dell.com/openmanagemanuals	
	Dell PowerEdge RAID コントローラーの操作	Dell PowerEdge RAID コントローラー (PERC)、ソフトウェア RAID コントローラー、BOSS カードの機能を把握するための情報や、カードの導入に関する情報については、ストレージコントローラーのマニュアルを参照してください。	www.dell.com/storagecontrollermanuals

表 20. お使いのシステムのためのその他マニュアルのリソース (続き)

タスク	文書	場所
イベントおよびエラーメッセージの理解	システム ファームウェア、およびシステム コンポーネントをモニタリングするエージェントによって生成されたイベント メッセージおよびエラー メッセージの情報については、「Error Code Lookup」を参照してください。	www.dell.com/qr1
システムのトラブルシューティング	PowerEdge サーバーの問題を特定してトラブルシューティングを行うための情報については、『サーバトラブルシューティングガイド』を参照してください。	www.dell.com/poweredgemanuals

困ったときは

トピック：

- ・ Dell EMC へのお問い合わせ
- ・ マニュアルのフィードバック
- ・ QRL によるシステム情報へのアクセス
- ・ SupportAssist による自動サポートの利用
- ・ リサイクルまたはサービス終了の情報

Dell EMC へのお問い合わせ

Dell EMC では、オンラインおよび電話によるサポートとサービス オプションをいくつかご用意しています。お使いのコンピューターがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、または Dell EMC 製品カタログで連絡先をご確認ください。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。Dell EMC のセールス、テクニカル サポート、またはカスタマー サービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. www.dell.com/support/home にアクセスします。
2. お住まいの国を、ページ右下隅のドロップダウンメニューから選択します。
3. カスタマイズされたサポートを利用するには、次の手順に従います。
 - a. **サービス タグを入力** フィールドに、お使いのシステムのサービス タグを入力します。
 - b. **送信** をクリックします。
さまざまなサポートのカテゴリをリストアップしているサポートページが表示されます。
4. 一般的なサポートを利用するには、次の手順に従います。
 - a. 製品カテゴリを選択します。
 - b. 製品セグメントを選択します。
 - c. お使いの製品を選択します。
さまざまなサポートのカテゴリをリストアップしているサポートページが表示されます。
5. Dell EMC グローバル テクニカル サポートへのお問い合わせ先の詳細については、次の手順に従います。
 - a. [[グローバル テクニカル サポート](#)] をクリックします。
 - b. [[お問い合わせ](#)] ウェブページにある **サービス タグの入力** フィールドに、お使いのシステムのサービスタグを入力します。

マニュアルのフィードバック

任意の Dell EMC マニュアル ページでマニュアルを評価するか、フィードバックを書き、**フィードバックの送信** をクリックしてフィードバックを送信できます。

QRL によるシステム情報へのアクセス

システムの前面にある情報タグに記載されているクイック リソース ロケーター (QRL) を使用して、PowerEdge システムに関する情報にアクセスできます。

お使いのスマートフォンまたはタブレットに QR コードスキャナーがインストールされていることを確認します。

QRL には、お使いのシステムに関する次の情報が含まれています。

- ハウツービデオ
- インストールおよびサービス マニュアル、機械的概要などの参照資料
- 特定のハードウェア構成および保証情報に簡単にアクセスするためのシステムのサービス タグ
- テクニカルサポートや営業チームへのお問い合わせのためのデルへの直接的なリンク

1. www.dell.com/qrl にアクセスして、お使いの製品に移動する、または

- システム上、または「クイックリソースロケータ」セクションで、お使いのスマートフォンまたはタブレットを使用してモデル固有のクイックリソース (QR) コードをスキャンします。

PowerEdge MX740c システム用 QR コード



図 16. PowerEdge MX740c システム用 QR コード

SupportAssist による自動サポートの利用

Dell EMC SupportAssist は、Dell EMC のサーバ、ストレージ、ネットワーキング デバイスのテクニカル サポートを自動化するオプションの Dell EMC Services です。SupportAssist アプリケーションをインストールしてご利用の IT 環境にセットアップすると、次のようなメリットがあります。

- **自動問題検知** — SupportAssist は Dell EMC デバイスを監視し、プロアクティブかつ予測的にハードウェアの問題を自動検出します。
- **ケースの自動作成** — 問題が検出されると、SupportAssist が Dell EMC テクニカル サポートでサポート ケースを自動的にオープンします。
- **自動診断収集** — SupportAssist は、お使いのデバイスからシステム状態情報を自動的に収集して、安全に Dell EMC にアップロードします。この情報は、Dell EMC テクニカル サポートによる、課題のトラブルシューティングに使用されます。
- **プロアクティブな連絡** — Dell EMC テクニカル サポート担当者がサポート ケースについて連絡し、問題を解決するお手伝いをします。

使用可能なメリットは、お使いのデバイス用に購入した Dell EMC Service の利用資格に応じて異なります。SupportAssist の詳細については、www.dell.com/supportassist を参照してください。

リサイクルまたはサービス終了の情報

特定の国では、この製品の引き取りおよびリサイクル サービスが提供されます。システム コンポーネントを廃棄する場合は、www.dell.com/recyclingworldwide にアクセスし、該当する国を選択します。